

明治壬申九月

定價四匁

新聞雜誌

第六十號
附錄



特	別
18	
787	
604	



18
787
60(2)



新聞雜誌第六十號附錄 明治五年壬申

洋人九慮^{キリシタ}日本人ニ代リ或人ノ駁說ニ答フル文^ハラ
新聞紙ヨ
リ抄譯ス

五月二十五日ノ「ハラルト」新聞紙ニ、恩伯^{エムベ}ト名ヲ署シ玉
ヘル人、或人ノ奏議ヲ駁シ玉ヘリ、然レ氏、奏文ノ主意、甚
々正シ、^タ縦^{タト}ヒ查爾^{チヨル}知^チ阿弗^{アフ}、^イ諸^{シヨ}厄^{ヤク}蘭^{ラン}、^イ英國^{イグン}ノ徒ナル貴君ノ
說ニ悖^{モト}ルヤハ知ラガレ氏、決シテ差謬アラサルナリ、特
ニ先ヅ此文ヲ著ハセル人ノ主意ハ、安^{ヤス}クニ在^リヤトイフ
ヲ見ルベシ、彼ノ主意ハ、耶蘇教ノ禁ヲ除キ、自由ノ免許

新聞雜誌第六十號附錄

アラマホシトイフニ在リ、蓋シ教法モト弊害アルニ非ズ、或ハ國王或ハ羅馬^{ロマ}教皇、或ハ教會ニテ專ラ自己ヲ主張シ、他說ヲ許サザルヨリシテ、弊害生ズルナリ、故ニ彼タバオモヘラク、西教ヲ試ズシテコレヲ邪教トイフハ不可ナリ、自由ニ人民ヲ許シ、コレヲ試ミルヲ得セシムバシトイヘルノミ、彼固ヨリ羅馬^{ロマ}法王ヲ得ント欲スルニ非ズ、獨リ西教ヲ立テ他教ヲ廢セントイフニ非ズ、タゞ自由ノ免許トイフヲ行ハレンコトヲ欲スルノミナリ、毛ヲ吹キ疵ヲ求ムレバ、語弊モアルベケレド、ソノ大意ハ正シキヤウニ見ユ、彼曰ク、勉強忍耐ノ徳、諸術諸藝

ノ中ニ顯ハル、モノ皆教法ノ信望愛ニ根ガス、又曰ク、西國ノ教法ハ、文藝學術ノ流れ出ルトコロノ源ナリトイヘリ、コ、ニ着眼シ玉ヘ、彼タ、教法ヨリ出ヅルトイヘルノミ、羅馬^{ロマ}法王ヨリトモ、非立^{リツ}第二ヨリトモ言ハズ、加爾平^{カルピン}或ハ路暢^{ルサフ}ヨリトモ言ハス、安拿^{アナ}巴弗^{バフ}底^チトモ查爾^{サル}知^チ阿弗^フ、諸厄蘭^{イングラント}ヨリ出ルトモ言ハス、ソノ主要ハ、彼タ、皇帝ノ屬民ヲシテ西教ヲ試ムルヲ許シ玉ヘルヲ願フノミ、抑モ余今日ノ日本國ヲ觀ルニ、教法ノ名ハアレトモ、ソノ實ハ欠^{カケ}テ有ラス、蓋シ教法ハ人ヤノ必須ナルモノナルニ、コレ獨リ缺乏シタレバ、余今コレヲ論セント欲ス、タ

、幼年ノ時史冊ヨリ抄録セルモノヲ駢列シ口舌ノ争ヲ為スニハ非ルナリ、日本國ノ歴史ニ、教法ノ事昔ヨリ見ユト雖氏、ソノ衰病、今日ヨリ甚シキモノアラズ、人民ノ中ニ行ハル、教法、殆ント倒レ落ナントセリ、僧徒ノ説ハ少年ノ學者ニ藐忽セラル、神道ト稱スル者モ紺的コウテ海厄爾ハイケルノ理學ノ虚影ノ如キモノニ過ズ、ソノ高上ナルモノト雖氏、西國ニアルエイゼイヅム上帝ヲ信ゼザル一種ノ學派ニ髣髴タルノミニテ、信心ナク、望心ナク、傳記ノ真證トスヘキモノアラス、ソノ卑下ナル者ニ至リテハ政府ノ命令ニ雷同聽従スルノミ、外面ノ祭祀禮儀ノ

除クトキハ冷々淡々ニシテ毫モ生氣アラズ、是故ニ今日日本少年ノ心中ニ神道ナク、佛道ナク、ソノ信スル教法トテハ、一モコレナシ然リト雖氏、ソノ神道佛法ヲ疑フハ、コレヨリ高キ真理ヲ信スルニ進ムベケレハ、コレヲ補益ナシトイフベカラス○アングロサクソン英米人名ノ自由ニ呼吸スル人民、日本ニ来リテヨリ、今日ノ少年ハ、自由ノ民ノ字書ヲ用アル學者ヨリ教訓ヲ受ルモノカラ、神明ヲ誣瀆スル傳説ヲ信スルモノ、次第ニ減ゼリ、英國美國ノ人民オモヘラク、政府ニ權勢ナシ、人民ノ許准スルニ由リテ、ソノ權勢生ズト、今君上威ヲ擅ニス

ルノ日本、コノ二國ノ為ルトコロヲ能スベキヤ、否ヤ、宜
 ナルカナ、美國ニ來リシ日本國使曰、ラク、我等未タ日本
 ノ律法ヲ改變スルヲ能ハス、嚴酷ノ律法ニ非レハ、人民
 ヲ檢束スルヲ能ハス、蓋シ我等コレヲ能スベキ教法ヲ
 有クスト云ヘリ、サレハ方今教法ヲ尋子求ムル邦國ノ
 日本ナリトイフ氏、誰カ然ラズトイハンヤ、然ラハ、何ノ
 教法カ、ソノ求ニ應スベキヤ、該撒ニ屬スル物ヲ以テ該
 撒ニ歸スベク、上帝ニ屬スル者ヲ以テ、上帝ニ歸スベシ
 新約全書馬ト、命シ玉ヘル教法ニ非ズシテ、何ヲカ取ル
 太三十二章ト、命シ玉ヘル教法ニ非ズシテ、何ヲカ取ル
 ベキ、コノ教コソハ、人ニ教ユルニ、自ラ檢束スルヲ以テ

シ真正ノ自由 負茹頭怒邪慾邪念ヲ以テシ、官府ヲ敬シ、
 及ヒ自由ノ正法ヲ教ユルモノナリ、今日日本聰敏ノ少
 年、遠方ニ遊學スルモノヲ觀ルニ、往々教法ノ事ヲ書牘
 ニ載テ、コレヲ其家ニ贈リ、本地ニ居ル少年モ、外國ノ教
 師ニ向ヒ、耶穌教ノ望心信心ノ事ヲ問フ、今日書冊ノ賣
 ラル、モノ修身學ノ書ヨリ多キモノアラス、大小學校
 ニ於テ教ユル課業ノ書ハ、耶穌教ニ本ツケル修身學ノ
 書、最モ流行セリ、ホレイバイブル聖經ハ幾千部トイフ
 賣ラル、數ヲ知ラス、日本人既ニ西國ノ銃礮火藥汽器
 電信ヲ試ミタリ、嗚呼火輪車路ヲサヘニ、日本人既ニ西

國開化ノ事ヲ用ヒタリ、剩^セサハ外國人ノ衣服ヲサヘニ
サレトモ、今日本人何故ニ西國ハカ、ル開化ニナリシ
ヤト、ソノ根本ヲ尋^ベ覓スル^トニ注意セリ、本末前後ニ迷
ヒシニハアラズヤト着眼セリ、故ニ今日本人西國ノ徳
行禮儀、人倫交際ノ事ヲ學ブ^トヲ始ムル^トトハナレリ、
今マテ飲ミタルモノハ、池沼ノ水ニシテ原泉ノ水ニア
ラザリシトイフ^トヲ、日本人漸ク悟リタリケリ、恩伯曰
ク三四千年前、埃及人技術文藝ニ長スレ^ド、其國民ハ、耶蘇
宗徒ニ非スト、恩伯シカイヒ玉ヘ^ド、日本人ハ善ク埃及
ノ開化ト今日ノ開化ト、大^オ選^ホ庭^ニアル^トヲ知レリ、日本人

豈ニ亞弗利加ノ開化ヲ慕ヒ彼ニ航海セン^トヲ欲セン
ヤ、今日日本人ノ熱心艷慕スルモノハ、西國近年ノ開化ナ
リ、西教流行以後ノ模型ナリ、即チ考究ノ事、自由ニ訪察
スル事教法免許ノ事、仁惠ノ事、四海ヲ以テ兄弟トスル
事、勉強ノ事、徳行札儀ノ事、上帝ヲ以テ父トナス事、コレ
等ノ道理ニ原^キツケル開化コソ、日本人ノ希望スルトコロ
ナレ、試^シミニ恩伯ノ説^トコロヲ觀ヨ、全ク奏文ヲ作ル
人ノ意ト相及セリ、恩伯ノ意ヲ推^シセバ、往古ノ開化ハ、西
教ノ盛ニ行ハル、時代ノ開化ヨリハ、遙カニ愈レリト
言ヒ、コレヲ以テ世人ヲシテ信ゼシメント欲セリ、抑モ

往古ノ開化ハ、物質上ノ事ニ於テ、ソノ廣大堅牢塔ノ如ク、
一ナリナルヲハ、巍然トシテ高ク聳エタリ、ア、開化ト
イヘルヲモシタ、物質上ニ止マリ、コレヲ以テ定則ト
為ルヲナラバ、我輩日本人ニ説キテ、徳行札儀及ヒ教法
ノ事ハ、宜シクコレヲ度外ニ置キ、タゞ古時物質上ノ模
型ヲ學ビ、教法ノ一項ヲ今日ノ開化ヨリ逐出シ、タゞ百
工藝術ヲ學ブベシ、恩伯ノ主意トイハンノミ、若シシカ
イハバ、豈ニ笑フベキノ甚シキモノナラズヤ、恩伯縦ヒ
實證ヲ避テ、日本人ニ向ヒ、空シク往昔ノ開化ヲ稱揚ス
レ氏、日本人ハ今日西國ノ開化果シテ古時ノ開化ニ愈

ルヲ萬々ナルヲ、甚々善ク知レリ、夫埃及ノ如キ、ソノ古
昔盛時ト雖、氏君權無限キ、霸政ノ邦ニシテ、ソノ貴種ト稱
スルモノ、僅ニ數千人ニ過ス、タゞ華侈懶惰ヲ以テ、事ト
ナシ、其他數百萬ハ、皆奴隸ナリ、羅林孫ソノ立志編第四編ニ
伴シ、日耳曼ノ理學家ナリ、言ニ據レバ、埃及ノ盛時
スラ、今日ノ支那ニダモ及バズトイヘリ、日本人豈ニ支
那ヲ學バント欲センヤ、○恩伯又大ニ希臘古時ノ開化
ヲ、分外ニ稱揚セリ、ソノ文藝ノ美ナルヲハ、洵ニ人々ノ
許ストコロナレ氏、ソノ弊風惡俗ハ、實ニ賤ムベシトス、
婦人ノ汚下ナルヲ、嬰兒ヲ殺ス、自己ヲ妄用スルヲ

如キ其時ノ聖人ト雖氏ソノ俗ニ慣ヒコレヲ非存セズ
今日本人ヲシテ希臘ノ古時ヲ學バシムトモ自由ノ理
仁愛ノ道ヲ講求スルニ於テ何ノ益アラシヤ日本マサ
ニソノ乞丐ヲ平人ニ化シ婦人ヲ男子ノ輔佐トナシ人
民ヲシテソノ行ヲ清潔ニシ自由ノ權ヲ有テ律法ニ依
從セシメンヲ務ムルニ希臘古時ノ開化今ニ於テ何ノ
用ヲカナスベキ○恩伯又曰ク西國ノ法制羅馬ニ出ヅ
耶穌教傳播スルニ及ンデ國勢衰へ學術文藝終ニ湮沒
スト此說ニ至リテハ實ニ恠シムベシ羅馬帝ロミユラ
スヨリ帝アウグスタインニ至ルマデノ史書ヲ觀ヨ戰

闘殺戮ノ事ヲ除キ外ニ記スベキモノアラズ商人ハ奴
ヲ賣買スルノ外為ベキ事トテハナシ幾百萬人トイヘ
ル數ヲ知ズ或ハコレヲ殺シ或ハコレヲ賣ル吉本羅馬
史ニソノ奴ノ數五百萬萬ナリ億トイヘリ凡ソ國內四
分ノ三八奴ナリシナリ且闘毆ノ觀場アリ淫佚ノ市肆
アリ家風濫惡ニシテ夫ソノ妻ヲ殺シ父ソノ子ヲ殺シ
人ソノ奴ヲ殺シテ律法コレヲ問ハズ凡ソ門閥ノ中ニ
作セル惡事ハ律法ノ權コレニ及バズ古昔羅馬ノ情形
カクノ如シ恩伯乃チ曰ク西國ノ法制ハ耶穌教未ダ傳
播セザル羅馬ヨリ出ヅルトハソノ謬誤誠ニ哀シムベ

キナリ、蓋シ古昔ノ羅馬ハ少シク兵馬軍旅ノ法アルノ
 羅馬ノ西版圖滅亡セシ以來、耶蘇教始メテ立ツコトヲ
 得タリ、ソノ後律法改變シテ、名ニシオフ羅馬會典英華字典
 ニカクトイヘル律法書、始メテジーユスチニアシ帝ノ
 時ニ成就セリ、コノジーユスチニアシ帝ハ、耶蘇教ヲ信
 ズル人ニシテ、此時ヨリ羅馬東版圖實ニ耶蘇教ヲ用フ
 ルトハナレリ、コノ帝ノ命令ニヨリテ定メタルモ人
 羅馬會典ハ、今日西國法制ノ根基トスルヲナリ、羅馬ニ
 耶蘇教ノ行ハレガル前ノ法制アリテ、今日用ルナド、
 イフコトハ、證據ナクシテ信スルニ足ラズ、○恩伯ノ論ス

ルトコロ、中世耶蘇教徒ノ史録ハ、實証ニ及シ是非ヲ撓
 乱ス、サレド、ソノ呈露センヲ恐レテ、詳説セズ、時日ヲ言
 ハズ、夫羅馬ノ北狄ニ七ボサルハ、第四回百年ノ間ニ
 シテ、北狄ノ兇猛殘刻殊ニ甚シク、家屋ヲ焚燒シ、生人ヲ
 殺掠スルヲ事トナスコノ北狄ヲ開化スルコトヲ、耶蘇教
 徒專バラ務メタリ、然ルニ哀カナ羅馬ノ威權ハ、教會ニ移
 リ、上帝ノ教法ハ、國政ニ交和シ、ユレカ為ニ掣肘セラル、
 然レモソノ教徒數百萬ノ夷狄ヲ開化スルヲ務メトセリ、
 コノ時歐羅巴ハ古ノ希臘羅馬ニ及バザルハ、何故ゾト
 イフニ、ハンス古ヘ匈奴ト フランクスフランク ヴァンダルスヴァンダル サ

新開雜記 卷六十 附錄

キソンス等ノ夷狄人種、方ニ歐羅巴ニ横行シ、彫刻築造
伎藝ノ物ヲ毀テ破リテ、寇盜兵卒ノ規則ヲ立タレバナ
リ、第五回百年ヨリ、第十五回百年ニ至ルマテ、闇黒ノ世
多ク、光明ノ時少ナシ、然レバ、ツノ光明ハ、特ニ羅馬教會
ノ中ニ在ルノミ、學問藝術羅馬希臘ノ古書、立脚ノ地ナ
クシテ、教會ニ歸スル、恰モ舟ノ大風ヲ避テ、港口ニ躲
ル、カ如シ、而メ教會ノ徒、貧者弱者ヲ保護シテ、貴富者
ノ威逼強奪ヲ免カレシメタリ、コレナカリバ、強暴者
ノ殘害、何ソ底極スルトコロアラシマ、夫ニ工藝ヲ勉強ス
ル、ハ、近世開化ノ最大ノ基礎ナリ、然レニ寇盜兵卒ノ規

則盛ニ行ハル、間數百年コノ勉強ノ事、賤シメラレ、立
住ノ地ナキ故ニ亦教會ヲ以テ、ソノ居所トナス、就中ベ
子^トガクト^ノ聖徒^名、汎ノ徒、自ラソノ手足ヲ勞シテ、ソノ寺觀^ト
ヲ營造ス、法蘭西ニアリシ沼澤ノ地ノ水ヲ引乾カシテ、
樹藝ノ良地トナセシモ、特ニソノ教會ノ人ノ勞力ニ出
近世人民自由ノ萌芽ハ、此時獨リ羅馬教會ノ中ニ存ス
ルノミ、邑例^ノ法モ、教會ノ人ニ頼テ生ズ、古昔ノ羅馬希
臘ノ未ダ知ガルトコロナリ、且ツ此時ニ當リ、遠洋ニ航
シ、亞米利加^カ及ヒ亞弗利加^カ諸方ヲ尋覓スル人ハ、誰ヤ皆
耶穌教ヲ奉ズル人ナリ、然ルヲ無學ノ教師、相繼テ偽教

ヲ興ストイフハ、中世暗黒ノ時羅馬教會中ニ、獨リ光
明アリシヲ察セザル論ナリ、繪畫築造等ニ至リテモ、中
世ノ時造營セシストラスボルク彌蘭查的列ノトルデ
ーム及ヒウエストミンストルノ寺觀ノ如キハ、ノ壯麗
ヲ極メタル今日ト雖、氏容易ニ再造スルヲ得ンヤ、異教
ノ邦コレニ比スベキ美觀アランヤ、彫像ヲ除クノ外ハ、
美麗ノ地ト稱セラル希臘ト雖、氏コレヲ造リ得ンヤ、教
法ヲ崇スル意ヨリ出タル建築彫刻繪畫ノ絕妙技藝ヲ
除カシノハ、ソノ餘觀ルニ足ルモノアランヤ、○非立第
二、及ヒ查爾斯第九、及ビ羅馬ノ異端查察部院ノ耶蘇新

教ノ徒ヲ屠逐殺戮セシテ、及ヒ耶蘇新教ノ徒ノ羅馬教
徒ヲ刑殺セシテ、コレ實ニコノ事アリ、蓋シ耶蘇新教ノ
徒モ亦人ナリ、故ニ勢ヲ得ルトキハ、羅馬教徒ノ已等ニ
加ヘシ如キ事ヲ為ニ至ル、加爾平八路場ニ亞テ新教ヲ
唱フル人ナルガ、ソノ塞爾百朱士ヲ殺セシ如キハ、加爾
平ヲ稱賛スル人ト雖、氏ソノ汚血ヲ洗滌スルヲ能ハズ、
コレヲ要スルニ、羅馬法王非立アルバ等ノ暴行、及ヒ耶
蘇新教ノ徒ノ兵事ヲ生セシ故ヲ以テ、ソノ罪ヲ耶蘇教
ニ歸スルハ、公平ナル議論トイフベカラズ、試ニ一部ノ
聖經ヲ觀ヨ、和平ヲ勸ムル言語、ソノ中ニ充^ナ叙セリ、何ゾ

新開雜誌 第六一 附錄

曾テ片言隻句モ殺戮ヲ以テ教トスルモノアランヤ、路
加ニ章ニ曰ク、救主生ル、トキ、天使、上帝ヲ讚美シテ曰
ク、上ハ榮ヲ上帝ニ歸シ、下ハ和平ヲ世界ニ降シ、善念ヲ
以テ、人ニ施スト、又九章ニ曰ク、天ニ在リ和平上ニ在リ
光榮ト、馬太五章ニ曰ク、和平者ハ福ナリ、上帝ノ子ト稱
セラルベキ故ナリト、又惡ニ敵スル勿レト、約翰十四章
ニ曰ク、我爾ニ遺ルニ和平ヲ以テス、我ノ和平ヲ以テ爾
ニ賜フト、利未二十六章ニ曰ク、我境内ニ和平ヲ賜フ、我
ヲ興スヲ許ス勿レト、詩篇二十九篇曰、主、福ヲ人民ニ授
ケ、平康ヲ錫フトイヘリ、カクノ如キ類、枚舉スルニ暇ア

ラス、若シ教徒ノ暴行ヲ以テ、ソノ教法ノ罪トナサバ、僧
徒ノ暴行ヲ以テ、佛法ニ罪ヲ負ハセ、日本人苛虐ノ事ヲ
以テ、神道ニ罪ヲ負ハスベキカ、普拉ト古希臘ノ及ビゼ
ノストイイク祖ノ徒、耶蘇教徒數千人ヲ猛獸ニ投ジ、食ハ
シハシモ、コレヲ、普拉ト罪トイフベキカ、○恩伯
以為ク、第十五回百年格物學、真光伊太利ヨリ歐洲ノ西
方ニ被ムリ、羅馬教ノ惡弊、ソノ光ヲ失フ、印書ノ事、發明
シ、人々聖書ヲ讀ムトヲ得タリ云々、抑モ格物學ノ人類
ヲ裨益シ、一世ヲ福祉ニ導クトハ、人誰カコレヲ否スト
イハンヤ、然レ氏格物學ヲ以テ國家ヲ治メ、生人ヲ統理

スルヲハ能ハサルベシ、故ニ人民ハ必ズ一ノ教法ノ信
 スベキモノヲ有タザルベカラズ、今日ト雖モ格物學ノミ
 ヲ以テ邦國ヲ變化シテ上進セシムルヲハ決シテ能ハ
 ガルベシ、○希臘語ハ、新約書ト共ニ死中ヨリ活シ、拉丁
 語ノ聖書ハ、歐羅巴諸邦ノ語ニ翻譯シ、農民商賈モコレ
 ヲ讀ムトナリ、印書ハ耶蘇教徒ノ發明ニシテ、始テ聖
 書ヲ印行セリ、勞爾德倍根ハ、今世格物學ノ開祖ニシテ、
 インダクチーヴノ理學ノ基ヲ立ル人ナリシモ、耶蘇教
 ノ信徒ナリ、羅馬教會ノ迷謬固執ナルヨリシテ、哥白尼
 加利列窩ヲ困迫セシメシモ、教會ノ人ノ為ルトコロニ

シテ基督ノ教法ノ為セシニハ非ズ、萬人ノ生命、庸医ノ
 為ニ殺サレ、藥材ノ為ニ殺サル、ヲ以テ、コレヲ以テ、医
 學ヲ毀ルヲ得ケンヤ、○奏者以為ク、西國ノ人、技藝
 器械ヲ創造修改スル、勤勉忍耐ノ大勢力皆教法ニ根ガ
 シ出ヅト、コレマタ非トシテ駁スベカラズ、夫蒸氣機器
 ハ、直チニ基督教ヨリ出ルニアラズ、復生ノ事ヲ信ゼズ
 トモ、電信機ヲ發明スベシ、然ト雖モ西國發明創造ノ有
 名ノ人ハ、大抵耶蘇教ノ信徒ナリ、瓦德士提反孫、夫爾敦
 大来、普理斯的、礼、癸拉第、ゲ、ラ、ツ、サ、ク、售、拉、斯、敦、以、撒、牛、
 董、亞、當、斯、密、士、モ、ル、ス、ラ、ム、ホ、ル、ド、ハ、ヲ、ノ、ツ、ト、客、不、列、爾、

新開雜志 卷之六 一 諸行録
那比爾二人ノ黒爾舌等ノ如キ、皆是ナリ、若コレ等ノ人ハ、ソノ中ニ生ル、ガ故ニ、コレヲ信ズトイハゞ、ホル勃爾對テイ休謨亦ソノ中ニ生レズヤ、若シコレ等ノ人、教法ヲ研究セザルガ故ニ、コレヲ信ズトイハゞ、タタゞ諛詢ノ言トナスヨリ外ハアラズ、○往古希臘羅馬ノ開化ナル時代ニテハ、勉強勞苦ノ事ハ、奴隸ノ為ルトコロトシテ、コレヲ賤シニ、高賣ノ事ハ、平人ニ藐視セラレタリ、耶蘇教ヨリ、開化ノ事生スルニ至テ、始メテ勉強勞苦ノ事、尊尚スベキトナリ、而メ工業ノ事、稱譽セラル、トナレリ、救主ノ此世ノ父ハ、木エナリシカバ、ソノ幼時ハ、器具ヲ操ラ

レシニ、疑ナシ、ソノ使徒ト稱スルモノ、皆勞エヲ做セル人ナリ、財本ト、勞カト、ノ二者ハ、商業ノ生命ル必要ナリ、已私ニ克テ、儉素ヲ崇ビ、正直ニシテ、人ニ倚信セラル、ニ非レバ、商業ト雖、氏興旺スルヲ能ハズ、且、真正ノ發明創造ハ、利欲ヲ忘レ、心志ヲ專パラニスル人ニ非レバ、決シテ成就スルヲ能ハズ、バイブル實ニ勤勉忍耐儉素正直ヲ以テ、人ニ教ヘタリ、コレ實ニ古ヘ希臘羅馬ノ盛時ニ缺タルトコロノモノナリ、故ニ今世ノ開化ハ、耶蘇教ニ淵源ストイフ、ソレ何ゾ得テ駁スベケンヤ、恩伯、又ホ本休模牛董ヲ假テ、問難ヲ癸セリ、夫、牛董ノ如キハ、幼

新開雜志 卷之六 一 諸行録

時ヨリ、バイブルヲ學ビ、法教ノ書ヲ著ハシ、今日ニ存セ
リ、吉本^{キツホシ}史筆ノ才アリト雖、コレヲ以テ自ラ私スルノ
行ヲ掩フ^カテ、能ハズ、休^{ヒユ}摸^モ若シ信心望心アラシメハ、自^ミ救
ノ罪ヲバ、犯^トサバ^リリシナルベント思ハル、哥^カ連^{レン}蘇^ソノ如
キ、算術ノ合^アザル^ルニ訖テ、バイブルヲ議スルモ、零^ゼ數^スノ
末ニ過ズ、索^{ソク}美^{メイ}塞^セノ去^ク克^ク、亦^モバイブルヲ議セシモ、果^ケシテ
晩年定論ナリヤ、否^イヤ、余ガ知^ルトコロニ非ズ、蓋^シ古今ノ
著迷者、既ニ世ニ公^{オホ}ニセ^{ヤケ}シ後、悔悟シテ^カリ去^ル、ソノ
例亦少シトセズ、○檀^{タン}香^{カウ}鳴^{メイ}ノ^トニツキ、恩^{オン}伯^{ハク}ノ言^ハトコロ、
定メテ嘲^{チウ}弄^{リウ}ナルベシ、然^シラガレバ、余ガ愚^グ昧^{マイ}ノ思想^{シヨウ}ノ及

バサルトコロナリ、野蠻ト雖、亦德行アリトイフハ、頗
ル理アレ、氏、偽善ノ行ハ、耶蘇教行ハル、邦ニ獨リ存ス
ルナド、云、ニ至リテハ真ニ、新發明ノ異說トイフベシ
○商賈ノ支那ニ往^クモノハ、千人ノ中、九百九十人ハ支那
人ノ貿易ヲ妨クルヲ以テコレヲ悦^ハズ、商賈ニ非ル者ハ、支那
人年汚^キ殘^{ゼン}酷^ク頑^{マン}固^コナル行アリテ、及ビ自ラ信ズル愚昧ナ
ルヲ以テナリ、貿易ノミノ故ニ非ズ、○馬^マ太^{タイ}ノ末章、終
ニ、教主曰ク、爾往テ天下諸國ノ民ニ教ヘ、天父、神子、聖靈
ノ名ヲ以テ、洗禮ヲ施シ、我カ命ズル諸誠ヲ守ルベキヲ
教ユベシ、我常ニ汝等ト偕ニ在リテ、世ノ末ニ至ルベシ

ト、今恩伯自ラ耶蘇教ノ信徒ト稱シ、傳法教師トナリテ
日本ニ来リ玉ヒ、耶蘇教ヲ稱賛シ玉ヒ、獨リ馬太ノ末章
ヲ信ゼザルハ、余コレヲ不審ニ存ズルナリ、余思フニ日
本ノ僧徒、英國ニ来リ、耶蘇教ヲ嘲笑ストモ、之ヲ刑戮ニ
處セザルハ、必セリ、美國ノ如キ、十分ノ自由アリテ、何ノ
宗門ニ遷ルトモ、人民ノ意ノマ、ナリ、美國ニ住スル支
那人、數所ノ佛寺ヲ建テリ、倫敦ニ於テモ、回々教札拜堂
アリ、百爾西亞教ノ會堂アリ、サレハ英國、美國ニ僧徒来
テ、佛法ヲ説トモ、コノ二國ニ於テ、コレヲ禁ゼザルハ、必
セリ、○日本貧民ノ柔順ナルヲ、恩伯大ニコレヲ稱賛

シ玉フ、余コレニ與スト、雖氏亦自ラ説アリ、コレ全ク政
府、嚴法ヲ以テコレヲ治ムルニ由、テ、柔順ノ儀容、又シク
習慣トナリタルト見ユ、コレヲ健康ニシテ且ツ自由ニ
生長シタル人民、遠洋ヲ超ヘ、来ルモノニ比スベケンヤ、
今日本貧民ヲシテ、政府ノ嚴法ヲ脱セシメバ、果メ能ク
柔順ノ儀容ヲ保ツベキヤ、否、且、恩伯ノ説ノ如ク、德行
ハ、宗教ニ關カラズトイハ、試ニ思ヘ、今ノ法蘭西、日耳
曼、英吉利、亞米利加等ノ人民ハ、即チ昔ノハンス、ヴァン
ダルス、ゴッス、フランス、アルレメーンス、サキソンス等
臺種ノ民ノ耶蘇教ニ頼、テ變ジタルモノナリ、亦何ヲ以

テ德行ハ、教化ニ由、テ生スルモノニ非ズトイフヲ得
ンヤ、

余思フニ、恩伯ワノ自己ノ説ヲ主張スル、亦余一己ノ説
ヲ主張スルガ如シ、故ニ日本人コノニ説、是非ヲ知リ、
耶蘇教ニ弊害ノ懼ルベキモノアラザルヲ知リ、教法ノ
事ハ、政府コレト絶テ關係セザルヲトナランコソ、望
マシケレ、雷闕拉^{ケイラ}始^トハ、死セリ、羅馬法王ハ生^レ氏
死スルガ如シ、國立ノ教法ヲ廢毀スルコトハ、今日ノ政令
ナリ、普魯社^{プロシヤ}及ビ歐塞特里^{オーストリア}ニ國ノ政府ハ、教會ヨリ脱シ
テ各自主スルコトナリタリ、英國ノ教會政府ヨリ支給

セラハ、一、^イ、^イ以後五年保^ルベキカ、永續ハ為^ルガ
ルベシ、美國ニ於テ、政府ト、教會トハ、日々ニ相離レ隔遠
スルノ勢アリ、耶蘇教ノ極^ト破^レレ^ルトス、日本人
ヲシテ、古今ヲ鑑^ミテ、教法ヲシテソノ自己ニ任セシム
ルヤウニアリタシ、人々ヲ以テ自ラ上帝ト謀リ、自ラ取
捨ヲ為シムベシ、コレ皇帝ノ責ニモアラズ、王侯ノ責ニ
モアラズ、釋氏ノ僧ト、傳法教師ト、争ヲ起サシムルコトナ
ク、耶蘇教ノ人モ、相愛スルコトヲ主トシテ、宗派ノ争ヲ為
コトナカレ、日本人ヲシテ、貧富ノ別ナク、學問藝術ニ從事
シ、德行禮儀ヲ學バシムベシ、教法ハ、ソノ自己ニ任シテ

帝王コレヲ問ザルトキハ純粹ノ教法自ラ根柢深クナ
リ、技業繁茂スベシ、凡ソ教師ハ學術教法ノ別ナク、レ
ヲシテ自由ニ教訓ヲ施サシムベシ、誰ニテモ盜賊惡人
及ビ背叛者ヲ助ケタランニハ、日本人外國人ノ別ナク、
コレヲ罪スベシ、扱行ノ自由、教訓ノ自由ヲシテ、日本ヲ
粧飾スルヲ、恰モ英國美國ノ如クナラシムベシ、讀者、幸
ニ反覆シテ思ヲ致シ至ヘ、 泰西人九慮 再拜
某氏曰ク、日本政府、當時教法ノ事ニ關係セズ、律ニ明文
ナシト雖モ、默然トシテ自由ノ免許行ハル、一ナレバ、
奏本恐クハ無用ノ辨ニ似タリ、恩伯外國教徒ノ日本ノ

和平ヲ妨ケンヲ恐レ、教法ノ實ヲ避テ言ガルハ、智者ノ
遠慮トイフベシ、九慮ハ教法ノ西國開化ノ基タルヲ
論ジ、タ、歴世教徒ノ惡ノミヲ枚擧シテワノ善ヲ忘
ルハ公論ニ非ルヲ論ジ、及ビ教法ヨリシテ起ル弊害
ハ、教徒ノ罪ニシテ、教法ノ罪ニ非ルヲ辨ズ、仁者ノ用
心ト云ベシ、コレヲ要スルニ、日本ノ少年、學成テ歐羅巴
利堅ヨリ歸リ来ラバ、自ラ開化ニ進ムベシ、ソレ迄ハ無用ノ辨
ハ慎ミ玉フベシ、教法ヲ信ズル輩ハ、默然遵守スベシ、コ
レヲ議論ニ表曝スルハ、謂ナホクナリ、亮賢

新聞雜誌第六十號附錄終

新聞雜誌第六十號附錄

○第五十六號附錄ニ出セル擬泰西人上書ノ文中ニ誤
脱アリシ故今コレヲ校正シ左ニ録ス

第二葉 第三行 士人之相倣者紛其載道

同 裏第七行 西國之所以富強

同 裏第十行 以為治化之源

同 匪獨此也至于絕妙之技藝

第三葉表第四行 不愧元ヲ似猿猴之為

第四葉表第三行 貴國之所嫌忌者

同 表第五行 外國則不以為然

同 裏第九行 志行更誠

第四葉裏第十行 二國之主意有不可測者

第五葉表第一行 今二日之西國者非

同 表第二行 千百年前之西國

同 教法各種宗之宗門

同 表第三行 國王不概與焉

同 第六行 得雜謂非法教之所使然耶

第五葉裏第三行 陛下以下當改如左刪二十八字為五字

陛下如果除西教之禁則自今以後云々

報告

伊呂波亭開板

○獨逸カドリ氏文典直譯

全二冊

此編ハ英吉利クエッケンボス氏文典直譯ニ倣ヒ原文ヲ其儘和語ニ譯シタル者ニテカドリ氏原本ニ引合セ讀ムハ師家ノ授讀ニ異ナルナシ實ニ初學者使用ノ書ナリ

○獨逸語學初歩

初編 一冊

此書ハ「アベツエ」二十字ヨリ終字ニ至ルマテ盡ク片假名ヲ付ケ文字ノ組立發音ノ高低長短ヲ原書ヨリ抜抄シタル書ナリ 西洋書肆 東京日本橋四日市 和泉屋半兵衛